

## 第4回寒河江市立中学校部活動の地域移行に関する検討会議

### A グループ協議

- これまで理解深めてきた。今後理解を広げていく。
- スポーツ協会理事会を12/29に開催。部活動改革の説明を予定。
- 国の制度設計が早急過ぎる。イメージとしては丸投げとを感じる。
- 学校から団体への丸なげのイメージをどう変えればよいのか。
- 役員会で説明を繰り返し誤解を解いていく。生徒を受け入れる際の検討をハードルを下げて説明していく。
- 全団体への説明と個別に団体に説明するのとどちらがいいのか。
- 「地域移行」のネーミングが良くない。
- 来年度はタイトルを見直してほしい。
- 平日は学校で部活動を行う。
- 休日は自分で時間の使い方を選択していく。
- 保護者（小6の保護者）からの問い合わせがある。中学校進学後、受け入れてくれる団体はあるのか。
- 受益者負担。お金を払うからには、それに見合う成長、成績が見込めるのか。
- 保護者会の活動は、過剰な活動になる懸念もある。いろいろな問題が起こる危惧がある。
- スポ少で心配されること。これまでは基本ボランティアだった。それぞれの地区で進めてきた。地域移行したときにだれが責任を持つのか。負担感がある。
- 生徒、保護者、学校、地域一気に進んだ感がある。
- 学校、地域、それぞれの役割を明確にする必要がある。
- 市教委・県・国の援助が必要である。
- 受け皿になる団体は、おそらく、スポ少や保護者会だろう。非公式で土日に練習しているところもある。
- 土日の地域移行とはクラブ化することだろうか。
- 生徒の活動の場が学校から地域へ移行するんだという理解の仕方。新しいものを作るわけではない。
- スポーツ協会の団体は、基本、平日夕方に活動している。
- 中学校区、市町を跨ぐ場合もある。例）中山町のソフトテニス。
- 様々なパターンがあることを丁寧に説明していく。
- 市スポーツ協会には、大体37団体ある。その中にスポ少があり、スポ少の中で

も競技が枝分かれしている。すべての団体が土日に活動しているとは限らない。

- 平日と土日で異なるスポーツをする人は少ないのではないか。

## B グループ協議

- アプローチについてはこれからもアンケート等協議会で伝えていく。スポ少団体数は35ある。中学校の部活にあって、スポ少にない競技は、卓球。
- 楽しみたい人もいる。上位大会を目指す人もいる。
- 指導者の不足、指導を受ける人数や場所の問題もある。
- 多くの人を受け入れられるのか。希望者を全員受け入れられるのか。親と一緒に活動することも考える。
- 芸術文化協会だけの会議も必要である。多くの人に出てもらって意見を聞く。
- 学校の受け皿。保護者会の場合は、子どもが引退したらやめてしまう。
- 教員と休日に活動できる指導者を探す。
- 空手、硬式テニス等は別。
- スポ少に入らなくても競技はできるのか。
- 組織の上役の人と一緒に話し合わないと進まない。必要性も伝わらない。
- PTA、本部長、会長上部の人たちの会議も必要である。各協会団体の代表者も入って会議をしていく。
- 実務者レベルまで広げた検討会もする。中学生の親だけではない、市民、小学校の保護者も入れられるように。
- 来年度は5・6年の保護者も検討する。人がいっぱいいればいろいろな話ができる。
- 会議を開く際には、議題だけではだめ。具体性を持たせて説明をする。会議の際の情報が不足している。情報を提供して会議をする。
- 連盟組織との連携受け入れのルール作りが必要である。現状を聞いてみる。各団体へのアプローチと団体の洗い出しが必要である。
- 受け入れ体制の具体的な話し合いを持つ。

## C グループ協議

- 認識が様々であり、説明会などで浸透させる必要がある（1年間じっくりかけてよいのではないか）。
- まだ保護者や一般の方への周知が足りない。時間をかけて説明していく必要があるのでは。

- 何のため、だれのための部活動改革なのかなど、根本的なところから確認をしていく。
- 受け入れ側にも準備期間が必要である。受け入れ組織の運営上の課題もある。高齢化など事情を抱えている。
- スポ少では小学生を指導はできるが、中学生を指導する準備はできていない。
- 負担（保護者側、受け皿側）に対する補助など支援を検討する。体制の整備や周知も必要である。
- 芸術文化協会では部活動改革を説明して、46 団体で受け入れ可能と回答がある。
- 指導する側の実情を踏まえ、生徒が求める指導レベルなど生徒が満足できる態勢に整えることが重要（楽しむだけでよい場合もあるが）である。
- 外部指導者のいる部活は、体制を整えやすい。競技団体によっては指導体制の差がある。
- R5～7 では、具体的なメンバーで会議を組織する。
- メジャースポーツの代表者から、保護者代表、小学生を持つ親、活発な活動をしている団体の代表を招いての会議をしてはどうだろうか。
- 市民への情報の共有、周知（市報、ネット、報告会）が必要である。
- これまでの会議の内容がまとまったら報告会をする。